

平成 25 年度 学校自己評価システムシート (県立進修館高等学校)

目指す学校像	明るく活力にあふれ、「進徳修業」の精神に満ちた人間を育成する、地域が誇りに思える学校。
--------	---------------------------------------------

重点目標	1 生徒一人一人の学力の向上と進学・就職実績の向上 2 規律ある態度と豊かな心の育成及びエコでクリーンな学校づくり 3 学校情報の積極的な発信と地域の活力を結集した学校づくり
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	11名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					学校関係者評価			
年度目標					年度評価(1月31日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<p>○生徒一人一人の学力を把握し、個に合った適切な指導を推進する必要がある。また、学力向上の基本である、生徒自ら主体的に学習する力「学習力」を育成するため、各教科及び分掌等で具体的な対策を実施する必要がある。</p> <p>○大学進学を目指す応用力、高度な専門的能力の伸長を目指し、授業改善を一層図る必要がある。</p> <p>○多様な進路実態を踏まえ、3年間を見通した計画的な進路指導の充実を図る必要がある。</p>	<p>①基礎学力の向上と欠点保有者減少に向けた教科分掌の取組の工夫改善</p> <p>②学力向上に向けた授業研究の推進</p> <p>③校外教育機関との連携推進</p> <p>④中上位層の学力向上補習と進学講習の充実</p> <p>⑤個に応じた履修計画の決定支援</p> <p>⑥生徒の進路希望を実現する、きめ細かな進路指導の推進</p>	<p>①各教科による基礎学力向上と欠点保有者減少のための補習指導の実施</p> <p>・各教科における学習指導と評価の工夫改善</p> <p>・基礎学力テスト及び実力テストの実施</p> <p>②教科内研修の充実と、各教科による授業研究の実施</p> <p>③予備校等の外部講師による研修会等の実施</p> <p>④教科による放課後の組織的な補習等の実施</p> <p>⑤各学科の系列等に関する計画的な履修指導の実施</p> <p>⑥キャリアガイダンス及びインターンシップの充実</p> <p>・外部講師による進路講演会の実施</p>	<p>①転退学者数が30%以上減少したか。</p> <p>・欠点保有者が各学期20%以上減少したか</p> <p>②授業研修会等を2回以上実施したか</p> <p>③外部教育機関を活用した研修会を1回以上実施し、教育活動に還元できたか</p> <p>④成績優良者が前年比10%以上増加したか。</p> <p>・専門資格等取得表彰者数が20%以上増加したか</p> <p>⑤履修ガイダンスに生徒の70%以上が満足したか</p> <p>⑥四大合格率100%、就職内定率100%になったか</p> <p>・講演会を各学年1回以上実施できたか</p>	<p>①1月末現在の転退学者数は、昨年同時期比較で25%減少。</p> <p>・欠点保有者数は1学期12.9%増加、2学期0.5%増加。3科目以上保有は6.9%減少</p> <p>②予備校等で行う研修会に夏冬合わせ、延べ4名参加。</p> <p>③12月にベネッセによる学力向上研修会を実施。</p> <p>④成績優良者数1学期17.5%減少、2学期26.4%減少。</p> <p>・資格表彰者は昨年度の30名から25名に減少。</p> <p>⑤教育計画部の履修説明会等によりガイダンス満足78%。</p> <p>⑥1月末現在、四大合格率は、76.8%、就職内定率91.8%。</p> <p>・新規に2、3学年で就職等の進路講演会を実施。</p>	B	<p>・本年度、1、2年生で年2回の実力及び基礎力診断テストを初めて実施し、生徒の学力の実態把握と課題の洗い出しに効果があった。今後も継続してテストを実施する必要がある。</p> <p>・転退学者は、昨年より減少したが、引き続き、きめ細かな指導が必要である。また、説明会等を活用して入学のミスマッチをなくし、更なる学校の情報発信に努める必要がある。</p> <p>・欠点保有者数は、3科目以上保有する生徒が減少するなど、全体として落ち着いてきているが、成績優良者数が伸び悩んだ。補習などの充実により、成績上位層の引き上げが必要である。</p> <p>・四大受験者は減少した。生徒の多様な進路実現に細かな対応を要する。</p>	<p>・本校に入学してよかったとするアンケート結果が生徒・保護者ともに3年間で向上していることから、学校生活が年を追って充実していると考えられる。</p> <p>・退学者数は年度によって違うが、引き続き減少に向けて取り組んで欲しい。</p> <p>・学習については指導の成果がよく表れている。教育は最終的には大人になって社会に出ていく意識を持たせることにある。</p> <p>・欠点保有者が大きく減少していることは先生方の指導の成果と考えられる。</p> <p>・進学者対象補習に加えて成績不振者対象の補習を行ってほしい。</p> <p>・多様な生徒が入学して学んでいるので、習熟度別授業を実施することを希望する。</p> <p>・進路指導の成果は卒業生の進路先決定状況からわかるが、デフレ時代の就職指導に先生方は苦労していると思う。</p>
2	<p>○あいさつや時間を守るなどの基本的な生活習慣の徹底、規範意識の向上を図るため、積極的な生徒指導をさらに推進する必要がある。</p> <p>○多様な生徒に対応する、生徒理解・生徒支援の体制を充実させる必要がある。</p> <p>○部活動の活性化を通じ、学校の特色化を図る必要がある。</p> <p>○学校行事の工夫改善により、生徒の豊かな心を育み、これからの社会で活躍できる、たくましい人材を育成する必要がある。</p> <p>○エコ活動と校内環境の美化に積極的に取り組む必要がある。</p>	<p>①組織的・重点的な生徒指導の推進</p> <p>②生徒支援体制の活用</p> <p>③部活動の加入率の向上と高い目標を持たせる指導の充実</p> <p>④学校生活に張りを持たせ、豊かな心を育む学校行事の工夫</p> <p>⑤エコ活動と環境美化への積極的な取組</p>	<p>①生徒指導部と各学年の連携を強化し、組織的・重点的な生徒指導の推進</p> <p>・全教員による登下校及び昼の巡回指導の実施</p> <p>・挨拶の励行と身だしなみ指導の徹底</p> <p>・全教員によるチャイム トウチャイムの徹底</p> <p>②外部機関との連携により、生徒・保護者への教育相談、カウンセリングの充実</p> <p>③各部活動の実績および活動に関する目標の明確化</p> <p>④海外修学旅行の実施</p> <p>⑤日常的な清掃活動の充実</p> <p>・ゴミの減量と分別の徹底</p> <p>・月1回の大掃除の実施</p> <p>・こまめな消灯や節水の徹底</p>	<p>①生徒指導案件が10%以上減少したか</p> <p>・遅刻者が20%以上減少したか</p> <p>・生徒アンケート項目達成率が80%以上になったか</p> <p>・授業の開始・終了時間が厳守できたか</p> <p>②総合教育センター等の外部機関と連携したか</p> <p>③部活動の実質的な加入率が増加したか</p> <p>・各部活動の実績および活動目標が達成できたか</p> <p>④海外修学旅行に80%以上の生徒が満足したか</p> <p>⑤大掃除や毎日の清掃、こまめな消灯を実施できたか</p> <p>・年間の使用量5%の削減を実現できたか</p>	<p>①生徒指導件数は昨年2学期末までの比較で39.4%減少。</p> <p>・遅刻回数は昨年2学期末比較で26.4%減少。各学期10回以上の遅刻者数は1学期46.3%減少、2学期18.6%減少。</p> <p>・生徒指導関係の生徒アンケートで86%が学校の指導を評価。</p> <p>・授業開始終了時間概ね良好。</p> <p>②行田特支センターと連携。</p> <p>③部活動加入率は4月調査時75.5%、10月調査時53.7%。</p> <p>・陸上ハンマー投、ソフトボール、柔道、空手道、山岳関東出場、エコーン全国2位、ホッポ県優勝。</p> <p>④海外修学旅行満足度65.7%。</p> <p>⑤地域清掃、月1大掃除実施。</p> <p>・電気年間使用量3%削減。</p>	A	<p>・遅刻者は昨年に引き続き、大幅に減少した。校門指導を始めたH23(2学期末まで)との比較では、遅刻回数で約60%減少している。指導の効果は遅刻だけでなく、生徒指導件数の減少、生徒の生活態度や身だしなみの改善に繋がっている。今後も、継続して確実な取組を実施する。</p> <p>・部活動は、運動部で陸上競技部のジュニア・ユース優勝をはじめ、柔道、空手道、山岳、ラグビー、男子バレーボールの各部が大会で結果を残し、文化部は機械研究、電子機械研究、吹奏楽、写真、書道の各部が活躍した。他の部も日々熱心に活動した。部活動の実質加入率が下がっており、検討を要する。</p> <p>・海外修学旅行は、鳥インフルエンザ等の課題を乗り越え、有意義な旅行となった。</p>	<p>・学校の正門で先生方の遅刻指導をよく見かける。せっかく指導の成果が出ているので校門指導を継続してもらいたい。</p> <p>・中学校前を生徒が登校するが、服装がきちんとしているのが、中学生にも服装指導がしやすい。</p> <p>・先生と生徒が学校周辺のゴミ拾いや雪の日に学校裏の道を雪かきしてくれているが、こうしたことは生徒が社会に出てからも良い影響をもたらす。</p> <p>・生徒の目立たない活動を学校としてPRしたらよい。</p> <p>・部活動で関東大会以上へ進む活躍がみられるのは良いことです。一方、部活動に加入する生徒数が漸減していることは残念である。今後も継続した指導をお願いする。</p> <p>・海外修学旅行の成果が上がっているなら、今後も継続したらよい。</p>
3	<p>○特色ある学校情報の発信をさらに推進する必要がある。</p> <p>○高校への進学指導を充実させるため、中学校等との情報交換など連携をさらに強める必要がある。</p> <p>○地域連携を深め、地域の力を学校に活かす、学校の力を地域に還す取組みの充実を図る必要がある。</p>	<p>①あらゆるメディアを通じた学校情報の積極的な発信</p> <p>②中学生、保護者等に対する本校の理解度の向上</p> <p>③連携教育、スポーツや芸術を通じた交流、施設開放などの推進</p>	<p>①学校案内、HP、進修館通信の充実</p> <p>②学校説明会、授業公開の充実</p> <p>③学校自己評価アンケートの実施と活用</p> <p>・部活動、学習等に関する小中学校、大学等との連携事業の実施</p>	<p>①情報発信の充実・拡大ができたか</p> <p>②学校説明会及び授業公開の参加者が前年比20%以上増加したか</p> <p>③学校評議員会や学校評価懇話会の意見を教育活動に反映したか</p> <p>・小中学校、大学等と継続的な連携を行ったか</p>	<p>①HPの新着情報等90回以上更新。学校通信5回発行。</p> <p>②学校説明会は5回実施し、参加者は3%減少。授業公開参加者は5.4倍。(保護者3倍)</p> <p>③「見やすいHPを」の意見があり、今年度全面改訂。</p> <p>・小学校とスポーツ交流、中学校は部活動で交流。ものづくり大学、関東自大校と連携。</p>	A	<p>・HPや学校通信により生徒の活動等を積極的に発信した。HPは見易さ、解りやすさを重視し全面改訂した。</p> <p>・学校説明会は、工業科の夜の説明会(6回)の他に、新たに普通科及び総合学科の説明会(6回)を実施した。中学生や保護者の反応も良く、今後も中学校等への積極的・戦略的なPRを実施していく。</p> <p>・地域連携等は今後も継続実施する。</p>	<p>・台湾修学旅行など学校HPがみやすくなり、学校通信もわかりやすくなった。</p> <p>・少子化時代ですので、地域で行っている小中連携に加えて中高連携(今年度吹奏楽部)をやって欲しい。小高交流は地域の人が学校に対して親近感を持つので、交流によって地域の人に学校をPRしてもらいたい。</p> <p>・進修館高校としての総花的にならずに、目玉となる伝統を築き上げてほしい。</p>

